

業務部速報

No. 116

発行 18. 6. 11

JR東労組 業務部

申28号 鉄道における安全確立に向けた緊急申し入れを行う

2018年6月9日に東海道新幹線「のぞみ265号」車内で、刃物を所持した暴漢によって乗客が切りつけられ、3人が死傷する大変に痛ましい事件が発生しました。鉄道事業に従事する者として、鉄道施設内での凶行に強い憤りを感じます。亡くなられた方に哀悼の誠を捧げるとともに、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

鉄道は、閉塞又は限定された空間に不特定多数のお客様が居る特殊性を有しています。そのため、ひとたび事件や事故が発生すると即座に回避行動を取ることができず、甚大・深刻な事態に容易に発展してしまうリスクがあります。この間、乗務する社員・スタッフに対する暴力行為や、東海道新幹線車内火災など、車内の安全と秩序の維持について議論を重ねてきました。しかし、これまでの常識と感覚では防ぎきれない事象が発生していることから、早急に安全対策を講じなければなりません。

2019年ラグビーワールドカップや、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、社員の安全と、ご利用されるお客様の安全の確保に向けた具体的な行動が求められています。鉄道利用者と従事者に安全と安心を感じられるようにすることは鉄道事業者としての使命です。これまでの対策や施策について見直すとともに、具体的な予防策を広く外部の専門家の指導を受けて講じる必要があります。また、単純な監視強化だけではなく、犯罪抑止に効果のある手段を幅広く取り組むことも重要です。

従って、以下の項目で本部は本会社に申し入れを行いました。

1. 鉄道施設、鉄道車内におけるトラブルや犯罪発生を未然に防ぐ対策を行うこと。



職場で議論をつくり出そう!



安全な鉄道を私たちの手でつくり上げる為に
職場からの議論を展開しよう!